

溝小だより

<https://mizonobe-kahoku.edumap.jp/>

河北町立溝延小学校
学校通信 No.392
令和8年4月30日

9名の新生、ご入学おめでとうございます

今年度、溝延小学校に校長として着任しました 小山 孝昭(こやま たかあき) です。自然と歴史、文化と人々に恵まれたこの溝延小学校で、子ども達の健やかな成長のために、職員と一丸となって教育に取り組んでいきたいと思っております。今年度も、これまでと変わらぬお力添えのほど、どうぞよろしくお願いたします。

4月8日(水)に9名の1年生を迎え、全校児童63名で今年度の教育活動がスタートしました。昨年度から児童数は若干減りましたがその分、子ども達一人一人を見つめ、良さや個性を高めることができると考えています。そのためにも、子どもたちの心身の健康を第一に考え、安心・安全な学校づくりに努力してまいります。



令和8年度の学校経営について

学校教育目標 「ふるさとだいすき かしくく つよく やさしく」

学校経営の重点 「つながる力を育てる『つなぐ教育』」

目指す子ども像

- かしくく: 問いをもち 自分の考えを深める子ども
- つよく : めあてをもち 最後まで努力する子ども
- やさしく: 人を大切にして 自分で行動する子ども



ふるさとを好きになる。それは、ふるさとに生きる人々を好きになることです。ふるさとの風景を守り受け継ぐ人々の思いや献身、歴史に触れるとき、子ども達はふるさとを「感じ」「誇りとし」「愛する」ことでしょう。小学校では、「ふるさと大好き」の種を蒔き、芽を出させ、成長を支えることが大切だと考えます。そのために、学習はもちろん、行事や日々の暮らしなど教育活動全体の充実に取り組んでいきます。また、人は、みんなつながりの中で生きています。子どもたちに、「学びとのつながり」「人とのつながり」「地域とのつながり」など、たくさんのつながりを経験させ、その中で自己肯定感や問題解決能力を育てていくことが重要です。自らつながろうとする意欲や、つながるためのノウハウを使いこなして生きていくことができれば、それが「ウェルビーイング」そのものではないかと思います。

小学校生活の一日一日が、つながりの芽となるように、少人数の強みを生かして、充実した教育活動に取り組んでまいります。これまで同様、地域の皆様、保護者の皆様のご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

本校ホームページへ
こちらからもどうぞ

